

## 仙台市が目指す都市づくりの考え方

### 1. コンパクトシティの形成

21世紀は、自然と都市との調和を基本に、環境への負荷が少なく、資源・エネルギーの利用効率がよい、持続的な発展が可能な都市づくりが必要とされています。また、バリアのない動きやすいまち、地域のコミュニティがいきいきとしたまち、多くの市民が集い様々な交流が生まれる魅力あるまちを創っていくことが求められています。

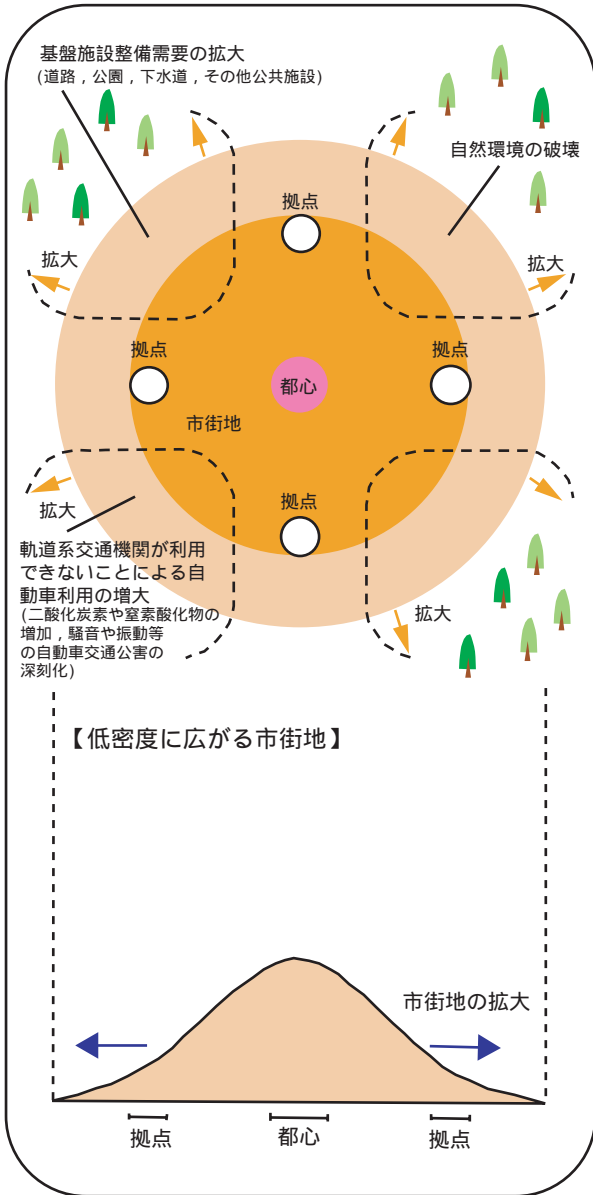
このためには、一定のまとまりを持った集約的な都市の形成を誘導し、省資源・省エネルギーで環境負荷が少なく、市民相互の交流が高まる生活しやすいコンパクトシティに形成していく必要があります。

### 2. 軌道系交通機関を中心としたまとまりのあるまちづくり

そのためには、これまでの外延的な市街化の拡大を防止し、過度な自動車交通への依存を改め、「軌道系交通機関を中心としたまとまりあるまち」を目指す必要があります。

地下鉄東西線は、コンパクトシティの要となる軌道系交通機関ネットワークとして、現在の地下鉄南北線・JR在来線に加えて新たに整備するものです。東西線の整備によって、動きやすく快適な都市交通軸を形成するとともに、都心、都心周辺、郊外等の各々の地域特性に応じた市街地の整備改善を誘導し、杜の都の魅力ある環境形成に積極的にとりくむため、駅を中心とする地下鉄沿線のまちづくりを目指します。

● 外延的拡大型



● 軌道系交通機関を中心とした集約型

